

平成 29 年度 事業計画及び収支予算書

予算総会

開催日 平成 29 年 3 月 4 日 (土)
時 間 正午～14 時 30 分
場 所 北とぴあ 16 階「天覧の間」

〒114-0853

東京都北区王子 1-11-1

公益社団法人 自彊術普及会

〒114-0015 東京都北区中里 2 丁目 14-1

電 話 03-3940-6696

F A X 03-6903-5540

平成 29 年度予算総会 次 第

- 1 開会の挨拶
- 2 議決権の確認
- 3 会長挨拶
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人選出
- 6 議事
 - 第 1 号議案 平成 29 年度事業計画
 - 第 2 号議案 平成 29 年度収支予算書等
 - ・資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
- 7 閉会の挨拶

平成29年度 事業計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

公益社団法人自彊術普及会

I 事業の内容

公1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

(1) 多くの人々に自彊術を広めるために、全国5総支部及び62支部の指導管理の下、本部直轄の講習会、公的機関・各種カルチャーセンターの要請による受託講習会、有資格者主宰の講習会など、全国各地で約4,700の教場が常設され、普及活動が実施される。

(2) ボランティア活動の実施

介護施設や身障者施設へのボランティア活動も各支部で積極的に行う。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承するために、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保するために、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会（指導者資格・称号の授与等に関する規程第5条）

① 熱川研修会(全国の各支部の中核となる指導者を目指す人を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する)

第100回 平成29年4月7日～9日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

第101回 平成29年6月23日～25日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

第102回 平成29年10月20日～22日

指導者 師範2名・準師範2名・奥伝3名

受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計110名

② シニア熱川研修会(65歳以上の、指導者を目指す人を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する)

第11回 平成29年10月18日～20日

指導者 師範3名・準師範2名・奥伝4名

受講対象者 65歳以上の指導者を旨とする者 計120名

高齢者であって、現場で指導にあたっている人と、これから指導者として活躍したい人を対象とした研修会を実施する。参加希望者が多く好評である。

③ 総支部指導者養成所研修会

各支部の中核となる指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

総支部名	実施会場
本部	本部道場
東北総支部	福島市置賜町 置賜会館
神奈川県総支部	本部道場
中部総支部	名古屋市 アイリス愛知
関西総支部	吹田市 さんくすホール
九州・中国総支部	福岡市 警固神社
九州・中国総支部	北九州市 菅原神社

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

実施日程	実施支部	会場	実施日程	実施支部	会場
4 月 25 日・26 日	春日部、越谷、春日部北支部合同	本部道場	7 月 4 日・5 日	立川朝日、春日部南支部合同	本部道場
5 月 11 日・12 日	名古屋中支部	アイリス愛知	7 月 25 日・26 日	大宮支部	本部道場
5 月 13 日・14 日	石川県支部	石川県文教会館	9 月 1 日・2 日	九州・中国総支部	警固神社
5 月 16 日・17 日	川越、熊谷、新宿朝日、所沢、東松山支部合同	本部道場	9 月 16 日・17 日	豊橋支部	ロワジールホテル豊橋
5 月 20 日・21 日	静岡県支部	静岡県総合研修所もくせい会館	9 月 19 日・20 日	神奈川県総支部	本部道場
5 月 27 日・28 日	立川、甲府支部合同	ブリジストン奥多摩園	9 月 26 日・27 日	小平支部	本部道場
5 月 27 日・28 日	大阪府支部	パナソニックリゾート大阪	10 月 3 日・4 日	千葉県、練馬、むさし野、板橋支部合同	本部道場
5 月 30 日・31 日	千葉県柏支部	本部道場	10 月 3 日・4 日	豊川支部	豊川市民プラザ
6 月 3 日・4 日	わかやま県、大阪東支部合同	パナソニックリゾート大阪	10 月 4 日・5 日	富士北麓支部	三ツ峠グリーンセンター
6 月 4 日・5 日	東北総支部	摺上亭・大鳥	10 月 14 日・15 日	東京北、千代田支部合同	本部道場
6 月 6 日・7 日	千葉県成田支部	本部道場	10 月 14 日・15 日	京都府、奈良県支部合同	京都東寺内洛南会館
6 月 27 日・28 日	千葉県稲毛、千葉県流山、大宮南支部合同	本部道場	11 月 8 日・9 日	滋賀県・京都洛中支部合同	アヤハレークサイドホテル
7 月 1 日・2 日	札幌支部	札幌全日空ホテル			
7 月 1 日・2 日	名古屋支部	アイリス愛知			
7 月 1 日・2 日	兵庫県支部	シーパル須磨			

(2) 上級指導者研修会（指導者資格・称号の授与等に関する規程第 6 条）

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者に対する養成力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を養成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認及びその統一を主眼に置く研修をする。)
箱根湯本：平成 29 年 11 月 25 日～26 日
- ② 奥伝研修会
(i)選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約 30 名は本部が選出する。)
本部道場：平成 29 年 4 月 11 日、10 月 17 日、平成 30 年 1 月 16 日
(ii)奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)
箱根湯本：平成 29 年 11 月 26 日～27 日
- ③ 支部長研修会
本部道場：平成 29 年 4 月 11 日、10 月 17 日、平成 30 年 1 月 16 日

(3) 資格・称号の授与 (定款第 4 条第 1 項 (2))

- 初伝 4 月・7 月・10 月・平成 30 年 1 月
- 中伝 8 月
- 奥伝 6 月

公 2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操実践者に対し、各種アンケート及び体力測定などの追跡調査を実施する。また、本部道場講習会の受講生を対象に、自彊術実施前後の酸素飽和度の変化を「パルスオキシメーター」により調査し、将来大学医学部研究室への資料提供により、自彊術の有効性を実証することを目的とする。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第 4 条第 1 項(3))

- ① 機関紙『自彊の友』の発行
毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者達の体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。
- ② リーフレットの配布
リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。
- ③ 「自彊術の葉」の配布
葉には、「カリキュラム」、「自彊術の心得」とともに、(公社)自彊術普及会への入会に必要な事項が記載されている。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図る。
本年は、時代の流れとしてのタブレット、スマホ対応としての改善を図る。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月に講演会を実施する。

黒澤 尚 先生(順天堂大学医学部整形外科学 特任教授)

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

40周年 新宿朝日支部

20周年 千葉県稲毛支部

10周年 宮城県北支部

6. 海外文化交流事業の実施(定款第4条第1項(4))

- (1) 平成27年4月に開設された台湾台北教室も順調に推移し、平成28年7月には、指導者資格取得を目ざす「初伝」取得者が2名誕生した。「中伝」取得のために訪日の意向を持っており、熱川研修会、地方特別研修会への参加について、可能な限り前向きに対応をしていきたいものとする。また、自前の「中伝」取得者2名が誕生し活動がなされているワシントン教室でもさらに「中伝」資格取得を目ざして3名の方の研修会参加のための訪日活動がなされている。
- (2) 本会では、台湾台北教室への定期的な講師派遣と、教室活動や指導者養成への支援により、自彊術の台湾社会での貢献が評価されることを目指して地道な努力をしたいものと考えている。また、ワシントン教室についても、更なる「中伝」資格者の誕生により米国での活動がより強固になる様に支援してきたいものと考えている。
- (3) なお、ヨーロッパをはじめとする世界の不安定な状況を考え、指導者の派遣を予定する積極的な海外文化交流事業への参加は当分控える。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて、自彊術の技術的・精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学出来る。(要予約)
- ・入館料は無料。

II その他

1. 会議(定款第3章以下および4章以下)

(1) 総会 決算総会 平成29年6月21日
 予算総会 平成30年3月

(2) 理事会 決算理事会 平成29年5月
 予算理事会 平成30年2月

(3) 各支部主催教室長会議 随時開催
 各支部内のさまざまな問題の検討・調整・決定を行う。

<付 記>

前会長医学博士近藤芳朗が法人設立の精神の一つとして「各人の能力に応じた、医学的解析を経た適切な運動を実施することが、究極の予防医学の大きな柱となり、健康で豊かな一生・豊かな社会の実現に資することになる」と常々説いていたことを忘れてはならない。この精神を踏まえ、広く社会に貢献する自彊術普及会会員の自覚をもって、平成29年度の事業計画を全会員が協力して推進したいものとする。

平成29年度 収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
基本財産受取利息	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	3,000	3,000	0	3,000
特定資産受取利息	0	0	3,000	3,000	0	3,000
③受取会費	0	0	88,805,000	88,805,000	88,805,000	177,610,000
正会員受取会費	0	0	3,305,000	3,305,000	3,305,000	6,610,000
賛助会員受取会費	0	0	85,500,000	85,500,000	85,500,000	171,000,000
④事業収益	95,784,000	0	0	95,784,000	0	95,784,000
講習会等実施事業収益	12,805,000	0	0	12,805,000	0	12,805,000
指導者養成事業収益	65,591,000	0	0	65,591,000	0	65,591,000
資格等授与事業収益	17,388,000	0	0	17,388,000	0	17,388,000
⑤受取寄付金	0	0	520,000	520,000	0	520,000
受取寄付金	0	0	520,000	520,000	0	520,000
⑥雑収益	0	0	1,000	1,000	9,594,000	9,595,000
総会・懇親会会費	0	0	0	0	9,594,000	9,594,000
受取利息	0	0	1,000	1,000	0	1,000
その他雑収益	0	0	0	0	0	0
経常収益計	95,784,000	0	89,449,000	185,233,000	98,399,000	283,632,000
(2) 経常費用						
①事業費	139,742,000	63,089,000	0	202,831,000	0	202,831,000
役員報酬	19,189,000	6,852,000		26,041,000		26,041,000
給料手当	18,022,000	4,005,000		22,027,000		22,027,000
臨時雇賃金	6,001,000	108,000		6,109,000		6,109,000
報酬謝金	27,380,000	480,000		27,860,000		27,860,000
役員退職慰労金繰入額	1,954,000	731,000		2,685,000		2,685,000
退職給付費用	477,000	58,000		535,000		535,000
退職給付金	1,500,000	0		1,500,000		1,500,000
法定福利費	2,886,000	922,000		3,808,000		3,808,000
会議費	6,619,000	576,000		7,195,000		7,195,000
会場費	0	200,000		200,000		200,000
研修会場費	15,534,000	0		15,534,000		15,534,000
旅費交通費	16,857,000	1,386,000		18,243,000		18,243,000
通信運搬費	2,049,000	6,280,000		8,329,000		8,329,000
減価償却費	5,455,000	1,377,000		6,832,000		6,832,000
什器備品費	0	900,000		900,000		900,000
消耗品費	2,716,000	1,169,000		3,885,000		3,885,000
修繕費	1,401,000	0		1,401,000		1,401,000
印刷製本費	943,000	9,397,000		10,340,000		10,340,000

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
渉外費	434,000	124,000		558,000		558,000
光熱水料費	1,198,000	205,000		1,403,000		1,403,000
リース料	139,000	46,000		185,000		185,000
保険料	287,000	181,000		468,000		468,000
諸謝金	90,000	1,361,000		1,451,000		1,451,000
租税公課	1,701,000	339,000		2,040,000		2,040,000
インターネット費	0	1,109,000		1,109,000		1,109,000
支払手数料	227,000	8,000		235,000		235,000
委託費	4,090,000	27,000		4,117,000		4,117,000
事務委託費	1,833,000	25,042,000		26,875,000		26,875,000
雑費	760,000	206,000		966,000		966,000
②管理費	0	0	0	0	46,816,000	46,816,000
役員報酬					9,909,000	9,909,000
給料手当					6,093,000	6,093,000
役員退職慰労金繰入額					988,000	988,000
退職給付費用					137,000	137,000
法定福利費					1,899,000	1,899,000
福利厚生費					544,000	544,000
会議費					9,509,000	9,509,000
会場費					1,388,000	1,388,000
旅費交通費					1,134,000	1,134,000
通勤費					1,117,000	1,117,000
通信運搬費					1,160,000	1,160,000
減価償却費					1,520,000	1,520,000
什器備品費					1,000,000	1,000,000
消耗品費					722,000	722,000
修繕費					887,000	887,000
印刷製本費					437,000	437,000
渉外費					100,000	100,000
光熱水料費					501,000	501,000
リース料					287,000	287,000
保険料					28,000	28,000
諸謝金					20,000	20,000
租税公課					3,501,000	3,501,000
支払寄付金					121,000	121,000
支払手数料					86,000	86,000
委託費					3,037,000	3,037,000
雑費					691,000	691,000
経常費用計	139,742,000	63,089,000	0	202,831,000	46,816,000	249,647,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-43,958,000	-63,089,000	89,449,000	-17,598,000	51,583,000	33,985,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-43,958,000	-63,089,000	89,449,000	-17,598,000	51,583,000	33,985,000
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	17,598,000	17,598,000	-17,598,000	0
当期一般正味財産増減額	-43,958,000	-63,089,000	107,047,000	0	33,985,000	33,985,000
一般正味財産期首残高				509,375,617	242,414,215	751,789,832
一般正味財産期末残高				509,375,617	276,399,215	785,774,832
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額				0	0	0
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	276,399,215	815,774,832

事業年度	自 平成29年 4月 1日	法人コード	A004741
	至 平成30年 3月31日	法人名	公益社団法人 自彊術普及会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無の記載、
借入れ予定がある場合はその借入先、金額、用途等

借入先の予定				:	<input type="checkbox"/> 有り		<input checked="" type="checkbox"/> 無し	
事業番号	借入先	金額	用途					
公 1 普及促進事業								
公 2 普及啓発事業								

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む。)の予定の有無の記載、
設備投資の予定がある場合にはその内容等

設備投資の予定				:	<input type="checkbox"/> 有り		<input checked="" type="checkbox"/> 無し	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額 (単位:円)	資金調達の方法又は 取得資金の用途					
公 1 普及促進事業								
公 2 普及啓発事業								

